



お元気ですか!

志村 たかよし です

第627号 2013年2月3日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

豊洲整備費用は4500億円に増大

築地再整備なら1460億円～1780億円

都は「現在地再整備」の決断を

豊洲新市場計画をめぐっては、汚染問題だけでなく、荷がスムーズに流れにくいなど土地形状に起因する致命的な欠陥があります。

これらの対策のために豊洲新市場整備費は、当初の3926億円が574億円膨らみ、4500億円になる見込みです（表参照）。

しかし、いくらお金を投入しても問題が解決できるかどうかは不透明です。

	09年2月	13年1月
建設費	990	1,532
土壌汚染対策費	586	672
基盤整備費	370	436
用地費	1,980	1,860
合計	3,926	4,500

「しんぶん赤旗」1月27日付より

築地で再整備をすれば、仮移転費用を含めて1460億円から1780億円（10年8月都議会試算）できるといいます。都は、財政面でも、施設面でも、破たんが明白な築地市場「移転」計画を白紙に戻し、「現在地再整備」を決断すべきではないでしょうか。

豊洲新市場土壌汚染協議会を傍聴

「豊洲は大丈夫だと報道を」とマスコミに委員が注文



取材するマスコミの人たち

1月24日に開催された豊洲新市場土壌汚染協議会では、対策工事の遅れや障害物の状況などについて、都から具体的な説明はありませんでした。

報道してほしい」との発言がありました。だが、日刊食料新聞は1/25付のコラム欄で反論しました。（以下は抜粋です）

「汚染問題が取り上げられることで風評被害を生んでおり、安全性を訴えるべきだというのが、豊洲用地の土壌汚染は、当初東京都は操業由来の汚染については東京ガスが行う対策で除去されると主張していた。しかし、それが実際には全くいかげんなものであったことを明らかにしたのは、一部の市場関係者の追及と、それに呼応したジャーナリズムの力である。筆者もその一端を担った側として、結果『臭い物にフタ』をした上に市場が建てられる危機が阻止されたことは、誇りに思っていた。だからこの委員の発言は非常に残念であったし、決してこれが市場の多数派の声でないことを切に願う。」

日中友好協会東京都連「新春のつどい」



剣を持って舞う太極拳。息もぴったりです。

1月25日、日中友好協会東京都連は、恒例の「新春のつどい」を文京区民センターで開催しました。

中国大使館の文徳盛参事官から、指導部が新しくなった中国共産党の紹介とともに、中国と日本の相互理解の活動を草の根です

すめる日中友好協会への期待をこめた挨拶がありました。

紹興酒が入った瓶（かめ）を割る鏡開きと乾杯の後は、様々な出し物が披露され、新春らしい華やかな「つどい」となりました。



珍しいひょうたん笛の演奏



漢族民族舞踊



ダンス・「アラムハン」



モンゴル族奏者タラさんによる中国古箏演奏

「意見、要望など、お気軽に「連絡ください」(03-6360-0900)